

「持続可能な開発のための教育：SDGs 実現に向けて（ESD for 2030）」

Education for Sustainable Development: Towards achieving the SDGs (ESD for 2030)

概要

1. 経緯

- ・ 第 204 回ユネスコ執行委員会（2018 年 4 月）にて「2019 年以降の ESD（持続可能な開発のための教育）」の提案を決議。
- ・ 第 3 回 GAP キーパーターナー会合（2018 年 4 月 25 日～27 日）、ESD の将来に関する加盟国協議（2018 年 7 月 9 日～10 日）、オンライン協議（2018 年 10 月）等を踏まえて検討。
- ・ 第 206 回ユネスコ執行委員会（2019 年 4 月）にて、GAP 後継枠組みのポジションペーパー「持続可能な開発のための教育：SDGs 実現に向けて（ESD for 2030）」のユネスコ事務局長提案を決議。
- ・ 第 40 回ユネスコ総会（2019 年 11 月）にて、「ESD for 2030」の枠組みを採択。
- ・ 第 74 回国連総会（2019 年 12 月）にて、「ESD for 2030」の実施について明記した決議「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ枠組みにおける持続可能な開発のための教育 (Education for sustainable development in the framework of the 2030 Agenda for Sustainable Development)」を採択。
- ・ 2021 年 11 月にロードマップ (Education for sustainable development: a roadmap) を公表。

2. ロードマップで示された枠組み

・ 国連持続可能な開発のための教育 (DESD) (2005 年～2014 年) 及び ESD に関するグローバル・アクション・プログラム (GAP) (2015 年～2019 年) の後継として、これまでのマニフェストを基本的に継続しつつ、より一層の推進に向け再定義。

○ 目標： ESD の強化と SDGs の 17 の全ての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指す。

○ 特徴 (GAP からの変更点含む)：

1. SDGs の 17 全ての目標実現に向けた教育の役割を強調

ESD は、SDG4 (教育) の不可欠な要素であり、その他全ての ESDs 実現への鍵 (Key Enabler) である。

2. 持続可能な開発に向けた大きな変革への重点化

持続可能な社会の実現には、個人の行動変容が最重要である一方で、社会の構造変革も不可欠。経済成長と持続可能な開発のバランスを見極めつつ、社会システム変容の実現に向け、ESD の果たす役割は大きい。

3. ユネスコ加盟国によるリーダーシップへの重点化

ESD の主流化には、政府レベルでのリーダーシップが重要。加盟国が主導し、5 つの優先行動分野に取り組み、国内の多様なステークホルダーと協働し、ESD 普及に取り組むこと。

○ 5 つの優先行動分野 (GAP からの発展的継承)：

1. 政策の推進、
2. 学習環境の変革、
3. 教育者の能力構築、
4. ユースのエンパワーメントと動員、
5. 地域レベルでの活動の促進

○実現へのメカニズムとしての6つの重点実施領域：

1. 国レベルでのESD for 2030の実施（Country Initiativeの設定）、
2. パートナーシップとコラボレーション、
3. 行動を促すための普及活動、
4. 新たな課題や傾向の追跡（エビデンスベースでの進捗レビュー）、
5. 資源の活用、
6. 進捗モニタリング

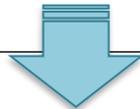
※関連文書：Education for Sustainable Development: A Roadmap

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000374802>

3.（参考）SDGsの実現に貢献する「持続可能な開発のための教育（ESD）」

持続可能な開発のための教育（ESD）とは

- ◆ 持続可能な社会づくりの担い手を育むため、現代社会における地球規模の諸課題を自らに関わる問題として主体的に捉え、その解決に向け自分で考え、行動する力を身に付けるとともに、新たな価値観や行動等の変容をもたらすための教育。
- ◆ 国際理解、環境、文化多様性、人権、平和等の個別分野を持続可能な開発の観点から統合した分野横断的な教育。



ESDは、持続可能な社会づくりの担い手の育成を通じ、SDGsのすべてのゴール実現に寄与。

2. 持続可能な開発のための教育は…（中略）…**質の高い教育に関する持続可能な開発目標に不可欠な要素であり、その他の全ての持続可能な開発目標の成功への鍵**であることを再確認する。

国連総会決議 A/RES/74/223（2020年1月）

【参考】SDGsのゴール4（教育）のうち、ターゲット4.7

4.7 2030年までに、**持続可能な開発のための教育**及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。



持続可能な社会では、環境、経済、社会の3分野がバランス良く発展。